

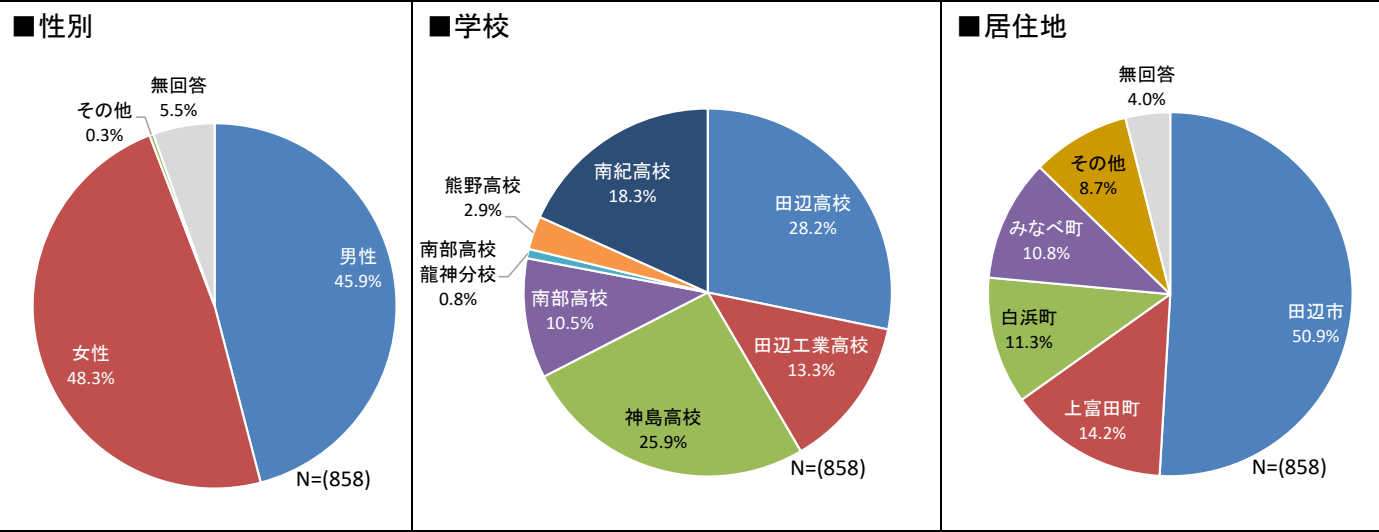
高校卒業後の進路に関するアンケート調査結果

1. 調査概要

項 目	内 容
調 査 目 的	・高校卒業後の地元就職割合、大学等卒業後の地元に戻りたいと思う希望の把握 【人口ビジョン策定（目標人口設定）に活用】 ・地元就職を選択する条件等の把握【総合戦略策定（雇用対策）に活用】
調 査 期 間	令和 6 年 9 月
調 査 方 法	学校を通じて配布、回収
調 査 対 象	田辺市在住の高校生が主に通学している下記の県立高等学校の 3 年生  ・田辺高校 259 人 ・田辺工業高校 116 人 ・神島高校 240 人 ・南部高校 90 人 ・南部高校龍神分校 7 人 ・熊野高校 154 人 ・南紀高校 40 人  計 961 人
有 効 回 収 数	858 票（有効回収率 94.3%）

2. 調査結果

① 属性



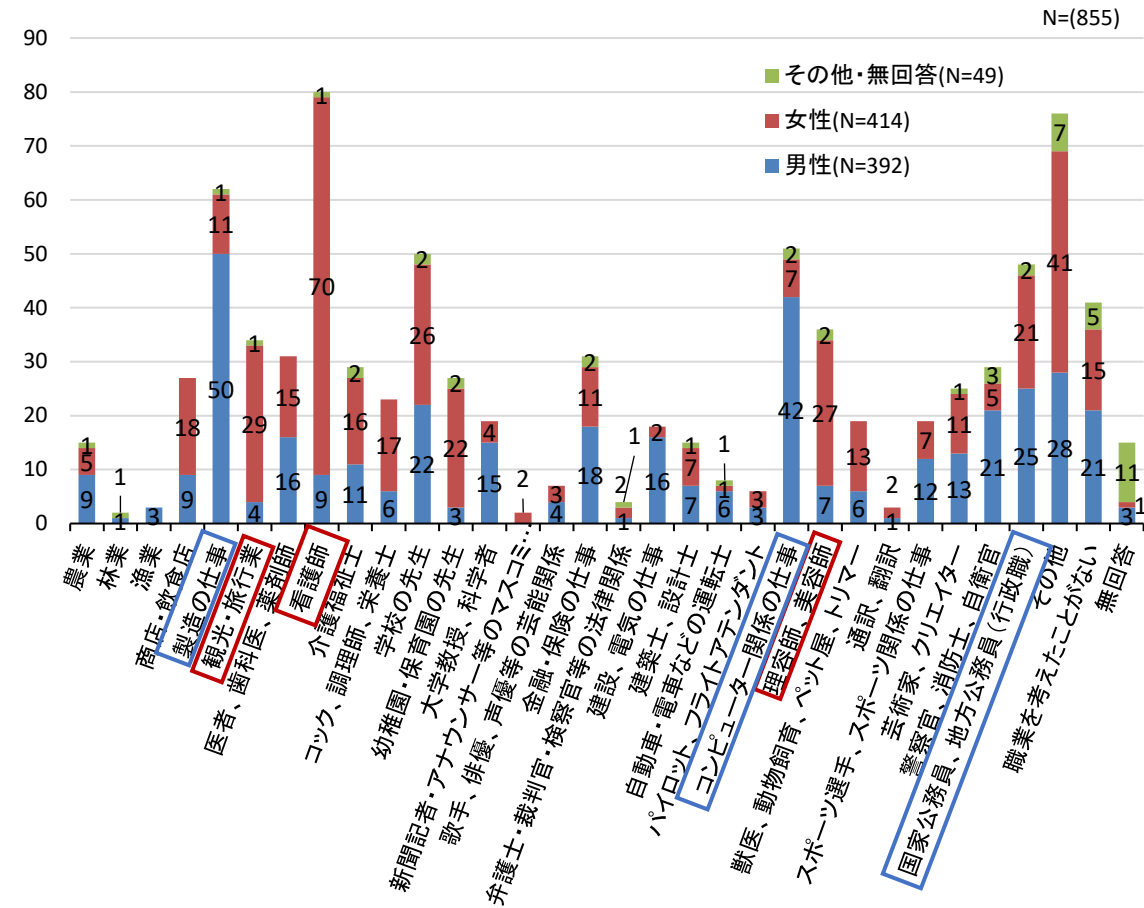
② 今後の進路等に対する考え

(1) 将来就きたい職業（全体）

・現時点での考えに最も近いものとして、将来就きたい職業を確認したところ、男性は「製造の仕事」、「コンピューター関係の仕事」、「国家公務員、地方公務員（行政）」、女性は「看護師」、「観光、旅行業」、「理容師、美容師」の順に多かった。（「その他」を除く）

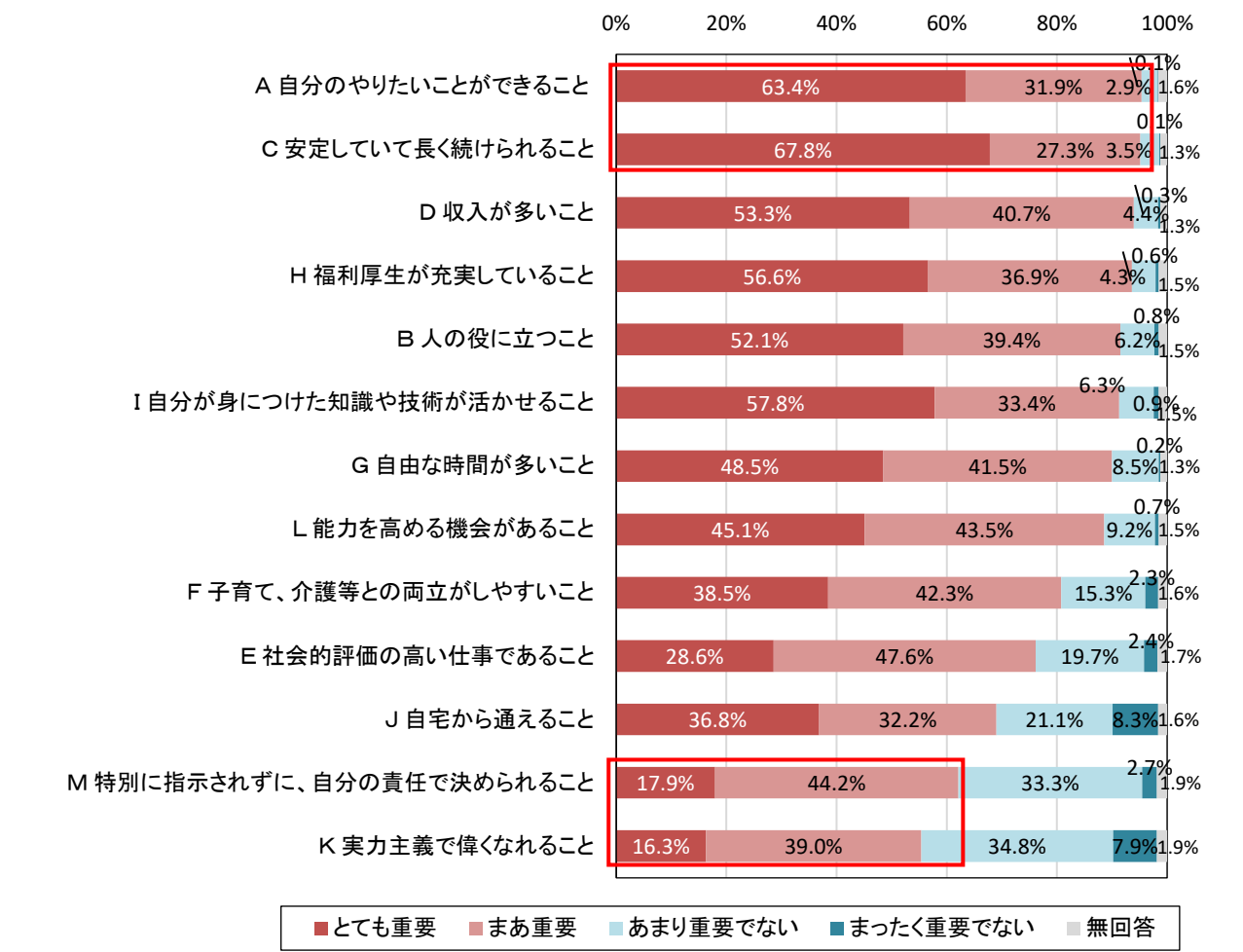
・「その他」としては、主に下記が挙げられた。（複数回答があったもの）

男性：理学療法士・柔道整復師・物流 等   ／   女性：歯科衛生士・医療事務・助産師・ブライダル・アパレル 等



(2) 仕事を選択する際に重要視する観点（全体）

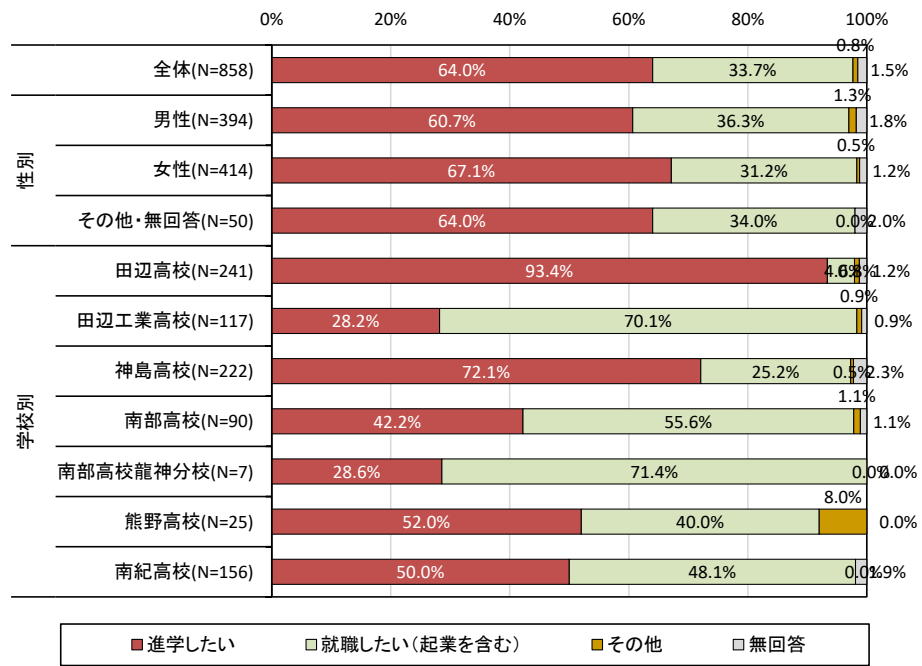
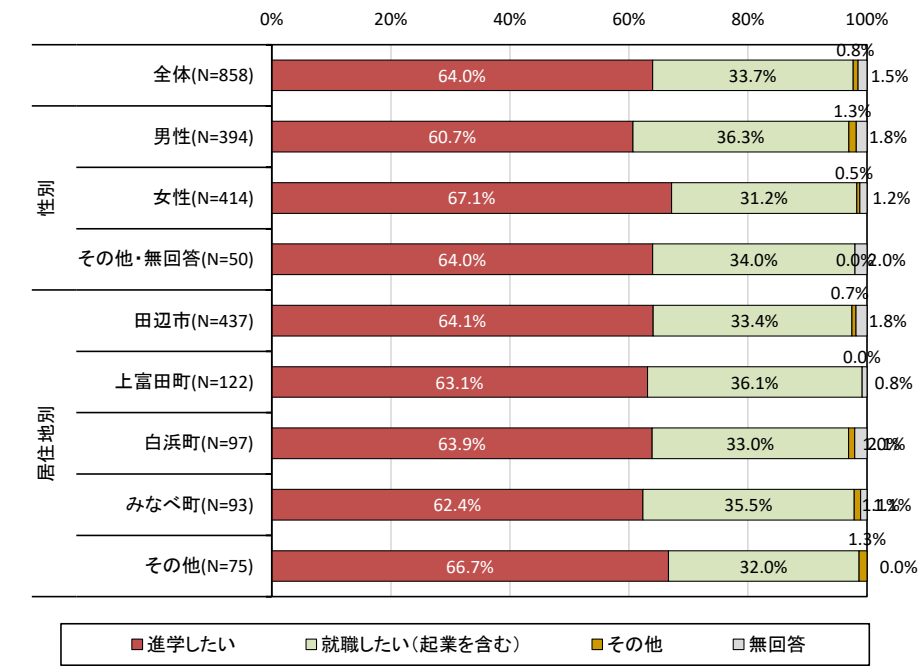
- ・「自分のやりたいことができること」、「安定して長く続けられること」について、6～7 割程度が「とても重要」と回答しており、「まあ重要」と合わせると 9.5 割を超えている。
- ・一方、「実力主義で偉くなれること」、「特別に指示されずに、自分の責任で決められること」については、「とても重要」を「とても重要」とする回答は 1～2 割程度と低く、「まあ重要」と合わせても 5～6 割程度である。



※「とても重要」「まあ重要」の回答割合が多い順に並び替え

(3) 高校卒業後の進路（全体）

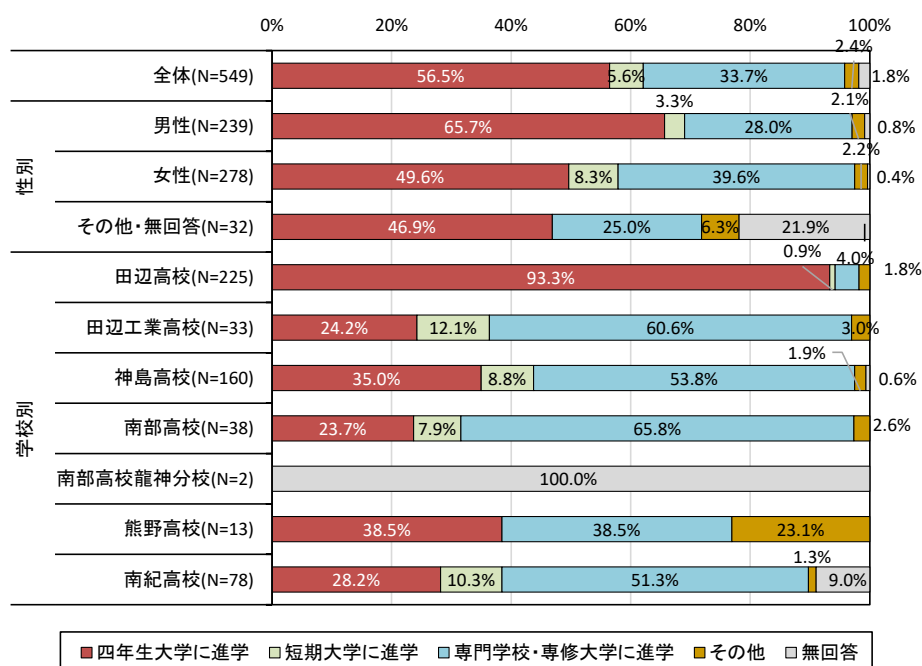
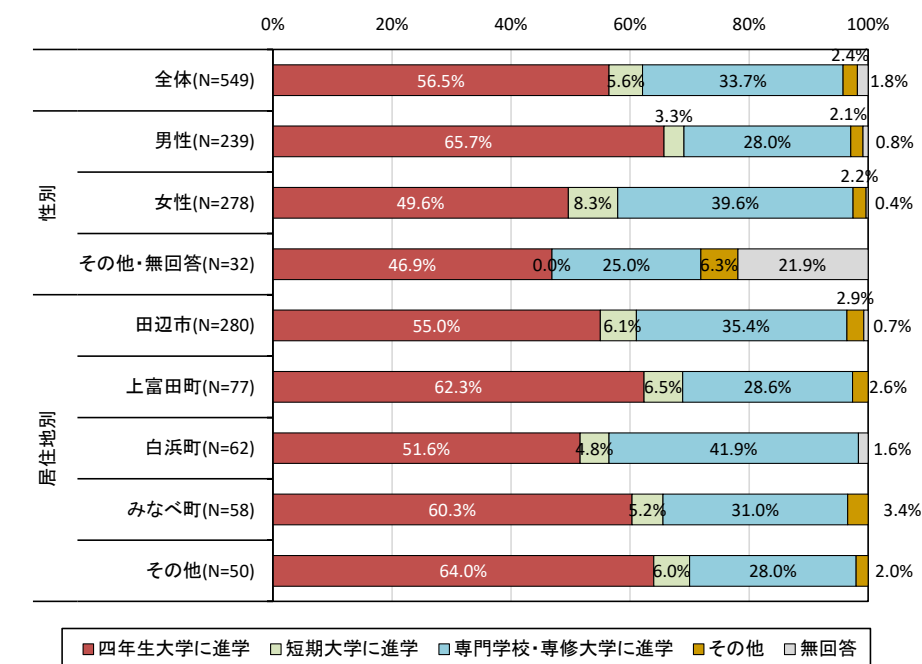
- ・高校卒業後の進路では、「進学したい」が 6 割程度、「就職したい（起業を含む）」が 3 割程度の比率となっている。
- ・性別や居住地別での差異はほぼ見られず、学校により特色があることが伺える。



### ③ 進学に対する考え

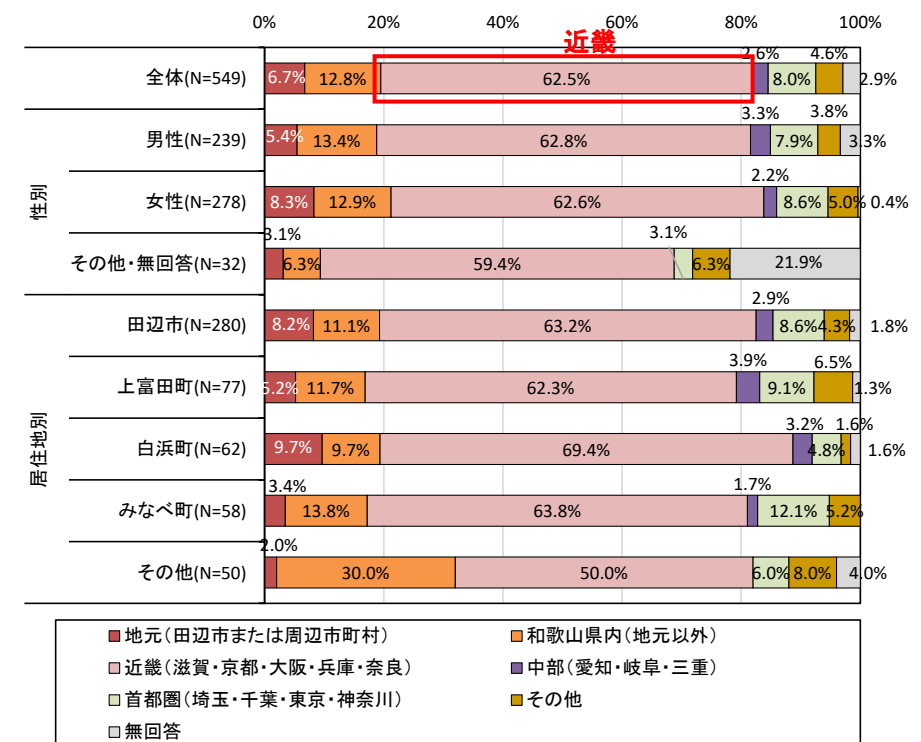
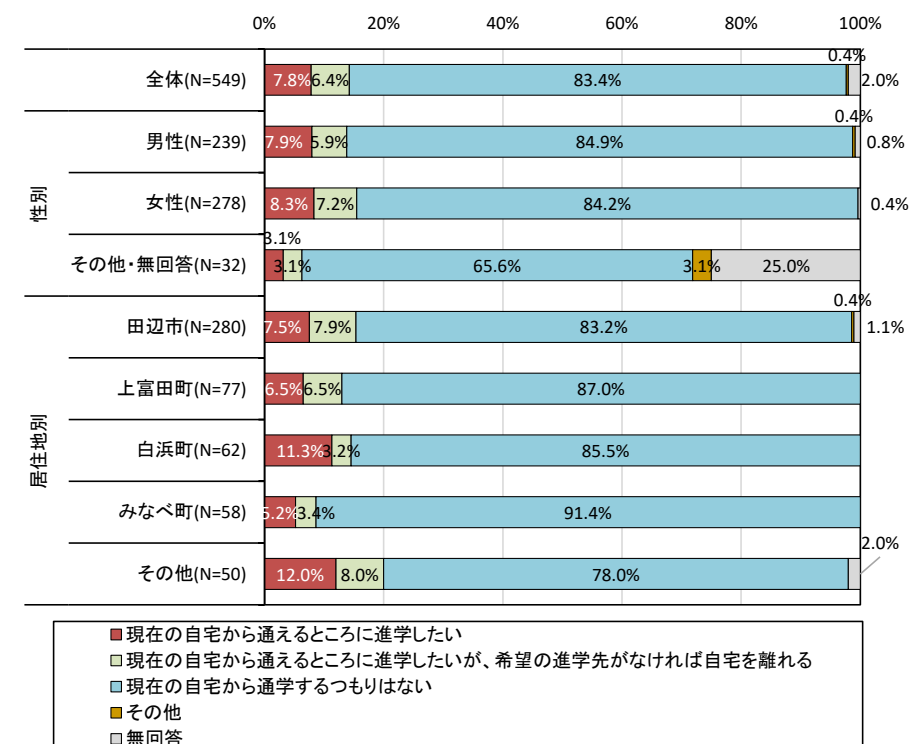
#### (1) 具体的な進学先（進学希望者）

- ・高校卒業後の進路で「進学したい」と回答した生徒のうち、「四年生大学に進学」の割合が進学希望者全体の6割程度を占めている。性別では男性が7割程度、女性が5割程度とやや開きがある。



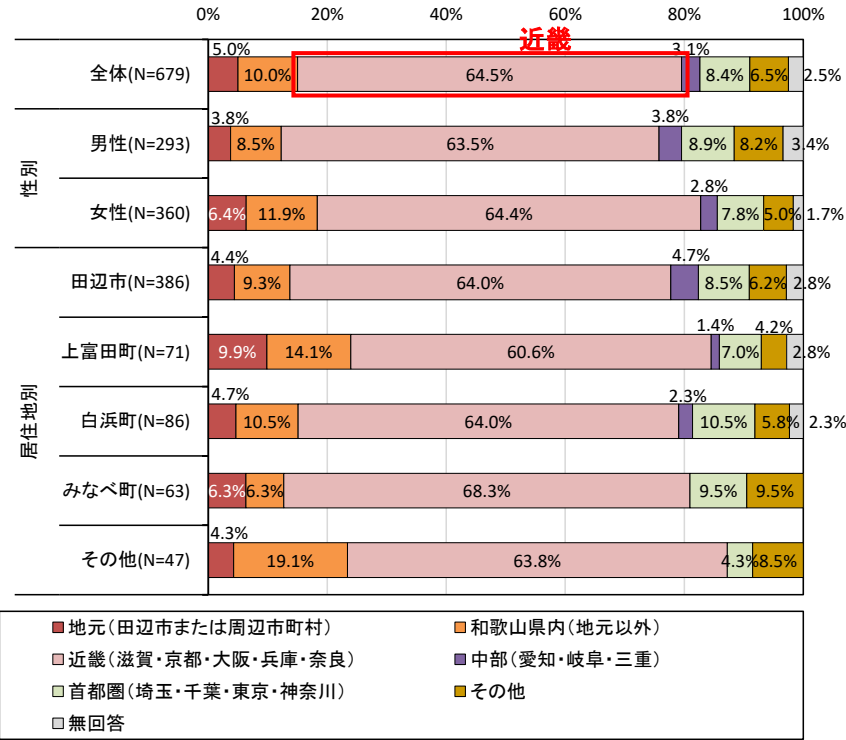
#### (2) 進学先の希望エリア（進学希望者）

- ・「現在の自宅から通学するつもりはない」の割合が進学希望者全体の8割程度、具体的な進学先エリアとして「近畿（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良）」の割合が6割程度を占めている。
- ・現行の総合戦略の策定時に実施した調査（以下「前回調査」）でも近畿圏が6割程度であり、今回調査と傾向は変わっていない。



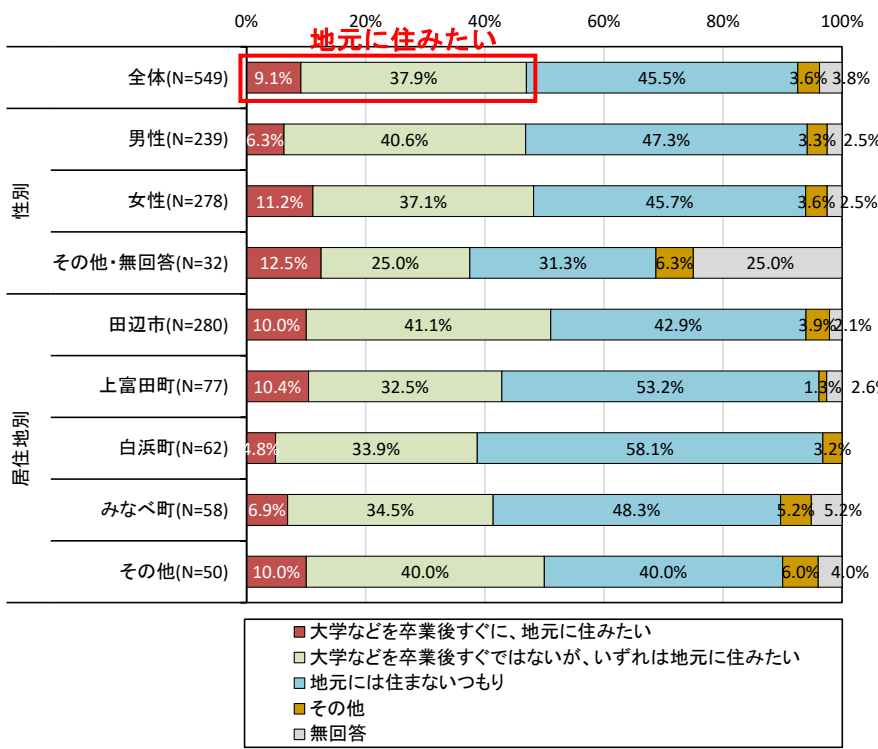
《参考》

■前回調査結果(令和元年)



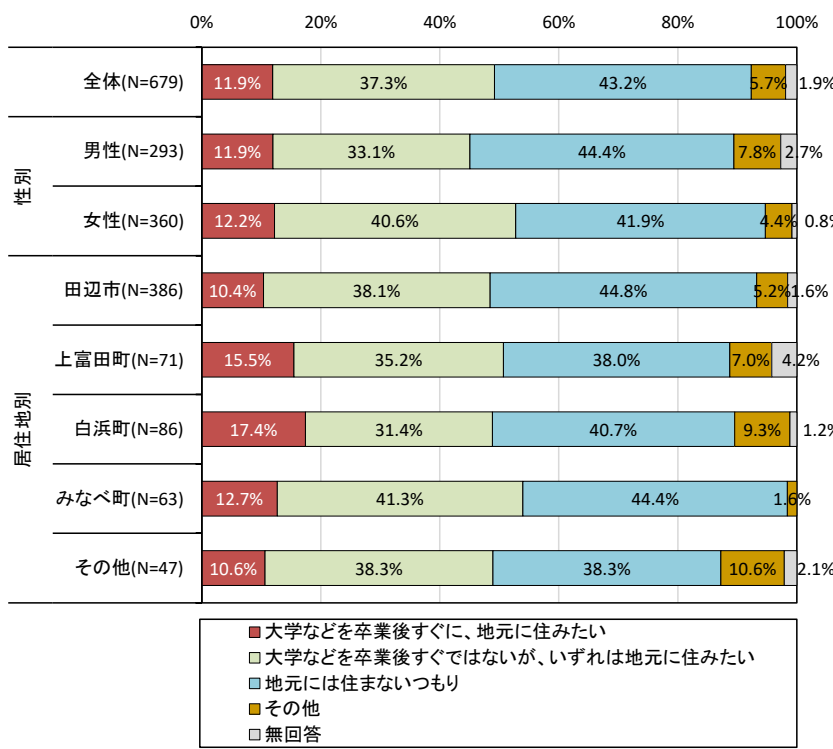
(3) 大学等卒業後に地元に戻る可能性(進学希望者)

- ・「大学などを卒業後すぐに地元に住みたい」、「大学などを卒業後すぐではないが、いずれは地元に住みたい」を合わせると、地元に戻る可能性のある生徒は、5割程度を占めている。
- ・大学等の卒業後「地元には住まないつもり」の割合は、進学希望者全体の4割程度を占めている。
- ・前回調査から傾向は変わっていない。



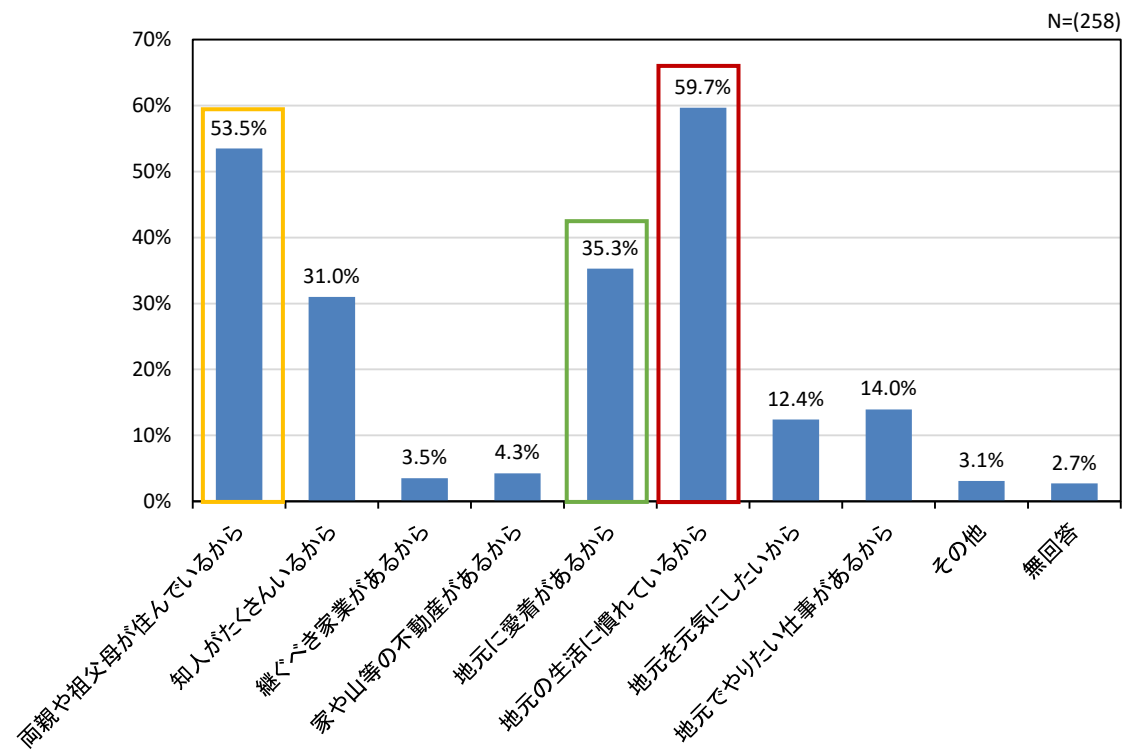
《参考》

■前回調査結果(令和元年)



(4) 大学等卒業後に地元に住みたい理由（大学等卒業後、地元に戻る可能性のある方）

- 大学等の卒業後、地元に戻る可能性のある生徒が、地元に住みたい理由として、「地元の生活に慣れているから」、「両親や祖父母が住んでいるから」が5～6割程度を占めており、性別や居住地でみても傾向は大きく変わらない。



	N=(258)				(複数回答)				
	全体 (N=258)	男性 (N=220)	女性 (N=320)	その他・ 無回答 (N=26)	田辺市 (N=324)	上富田町 (N=62)	白浜町 (N=59)	みなべ町 (N=55)	その他 (N=47)
両親や祖父母が住んでいるから	53.5%	41.1%	64.9%	41.7%	62.2%	30.3%	54.2%	54.2%	36.0%
知人がたくさんいるから	31.0%	25.9%	33.6%	50.0%	31.5%	24.2%	33.3%	33.3%	24.0%
継ぐべき家業があるから	3.5%	6.3%	0.7%	8.3%	2.1%		4.2%	12.5%	4.0%
家や山等の不動産があるから	4.3%	8.0%	1.5%		4.2%	6.1%	4.2%	8.3%	
地元へ愛着があるから	35.3%	37.5%	35.1%	16.7%	37.1%	39.4%	50.0%	29.2%	20.0%
地元の生活に慣れているから	59.7%	46.4%	70.1%	66.7%	61.5%	57.6%	50.0%	66.7%	56.0%
地元を元気にしたいから	12.4%	11.6%	12.7%	16.7%	9.1%	9.1%	25.0%	8.3%	28.0%
地元でやりたい仕事があるから	14.0%	13.4%	14.9%	8.3%	11.9%	18.2%	25.0%	12.5%	12.0%
その他	3.1%	2.7%	3.7%		4.2%	3.0%			4.0%
無回答	2.7%	3.6%	1.5%	8.3%	2.8%			4.2%	4.0%

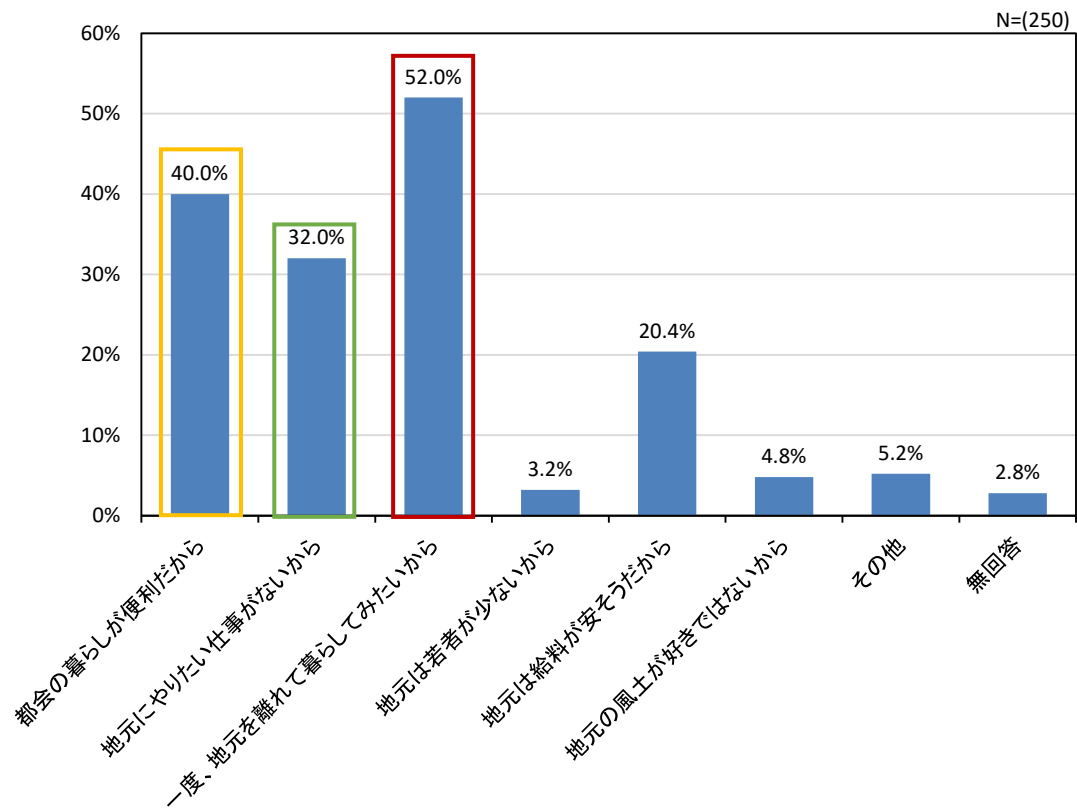
上位1位

上位2位

上位3位

(5) 大学等を卒業後に地元に戻らない理由（大学等卒業後、地元には住まないつもりの方）

- 大学等の卒業後、地元には住まないつमりの生徒が、地元に戻らない理由として、「一度、地元を離れて暮らしてみたいから」や「都会の暮らしが便利だから」の割合が4～5割程度を占めており、性別や居住地別でみても傾向は大きく変わらない。
- 前回調査では「地元でやりたい仕事がないから」が4割程度で最も多い理由となっていたが、今回調査では3割程度と減少している。



	N=(250)				(複数回答)				
	全体 (N=250)	男性 (N=177)	女性 (N=209)	その他・ 無回答 (N=15)	田辺市 (N=184)	上富田町 (N=62)	白浜町 (N=58)	みなべ町 (N=51)	その他 (N=39)
都会の暮らしが便利だから	40.0%	43.4%	37.8%	30.0%	41.7%	26.8%	41.7%	42.9%	55.0%
地元でやりたい仕事がないから	32.0%	31.0%	33.9%	20.0%	29.2%	29.3%	33.3%	42.9%	40.0%
一度、地元を離れて暮らしてみたいから	52.0%	54.0%	52.0%	30.0%	47.5%	65.9%	55.6%	46.4%	50.0%
地元は若者が少ないから	3.2%	2.7%	3.9%		2.5%	2.4%		7.1%	10.0%
地元は給料が安そうだから	20.4%	15.0%	23.6%	40.0%	18.3%	14.6%	22.2%	25.0%	35.0%
地元の風土が好きではないから	4.8%	1.8%	7.1%	10.0%	2.5%	7.3%	2.8%	14.3%	5.0%
その他	5.2%	5.3%	3.9%	20.0%	7.5%	2.4%	2.8%	3.6%	
無回答	2.8%	3.5%	2.4%		4.2%	2.4%	2.8%		

上位1位

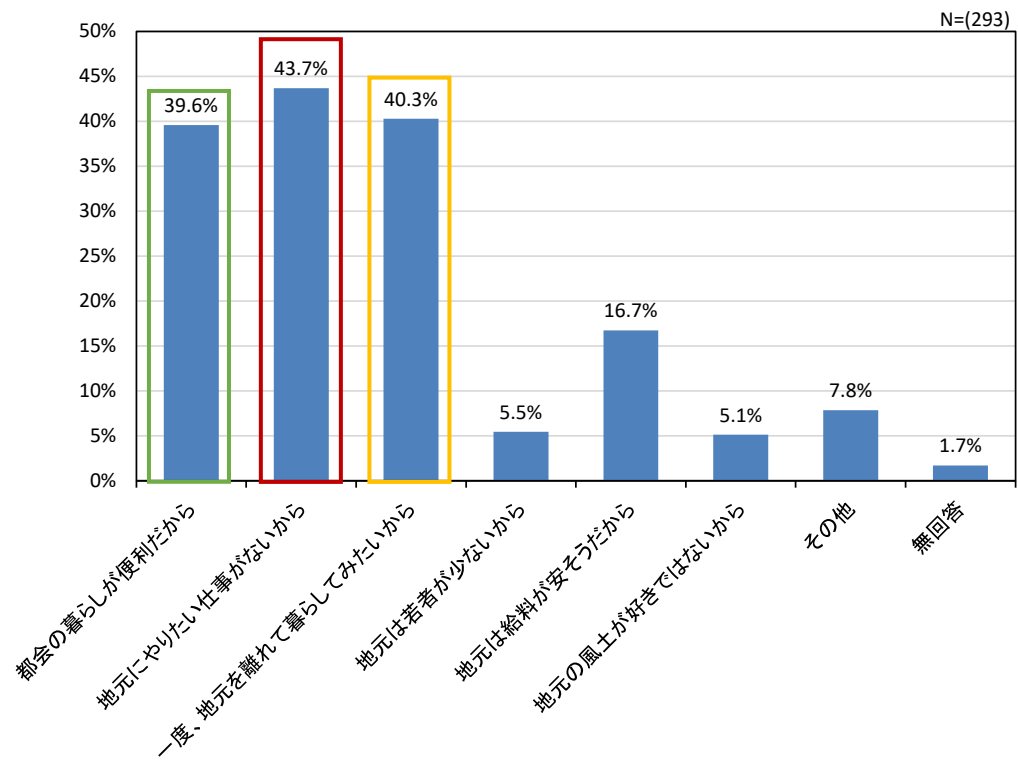
上位2位

上位3位



《参考》

■前回調査結果(令和元年)



	全体 (N=293)	性別		居住地別				
		男性 (N=198)	女性 (N=255)	田辺市 (N=288)	上富田町 (N=43)	白浜町 (N=51)	みなべ町 (N=41)	その他 (N=27)
都会の暮らしが便利だから	39.6%	35.4%	44.4%	43.4%	44.4%	28.6%	35.7%	33.3%
地元にはやりたい仕事がないから	43.7%	36.9%	50.3%	43.4%	40.7%	45.7%	50.0%	38.9%
一度、地元を離れて暮らしてみたいから	40.3%	36.2%	42.4%	41.6%	40.7%	37.1%	32.1%	38.9%
地元は若者が少ないから	5.5%	6.2%	5.3%	7.5%	3.7%	2.9%		5.6%
地元は給料が安そうだから	16.7%	20.8%	13.9%	17.3%	18.5%	17.1%	14.3%	11.1%
地元の風土が好きではないから	5.1%	3.1%	7.3%	5.2%	3.7%	5.7%	3.6%	11.1%
その他	7.8%	10.8%	4.6%	6.9%		5.7%	10.7%	11.1%
無回答	1.7%	3.1%	0.7%	1.2%	7.4%	2.9%		

上位1位

上位2位

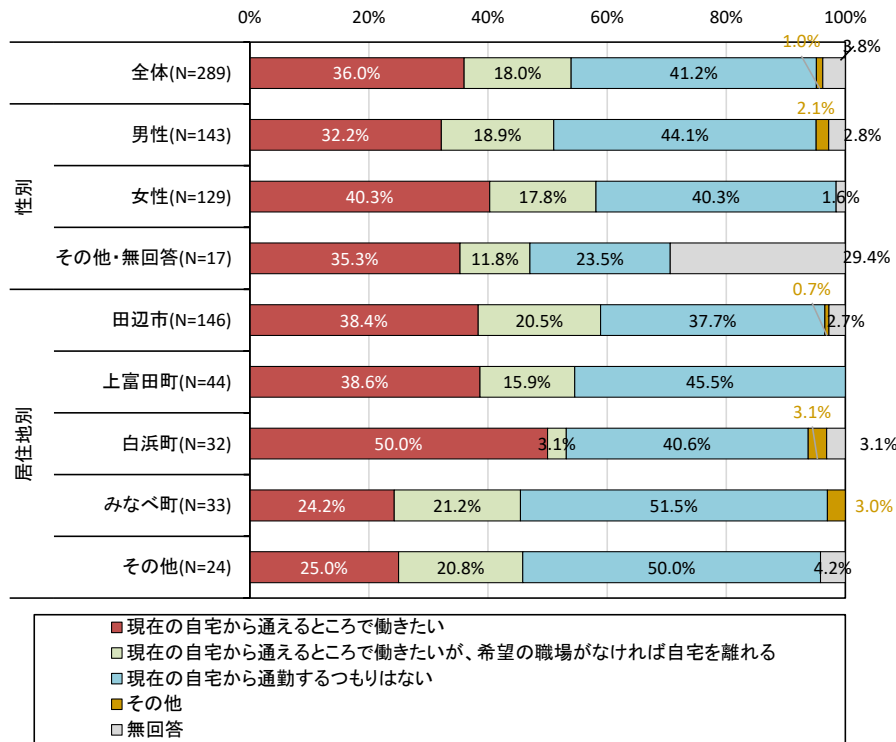
上位3位

※空欄は 0%

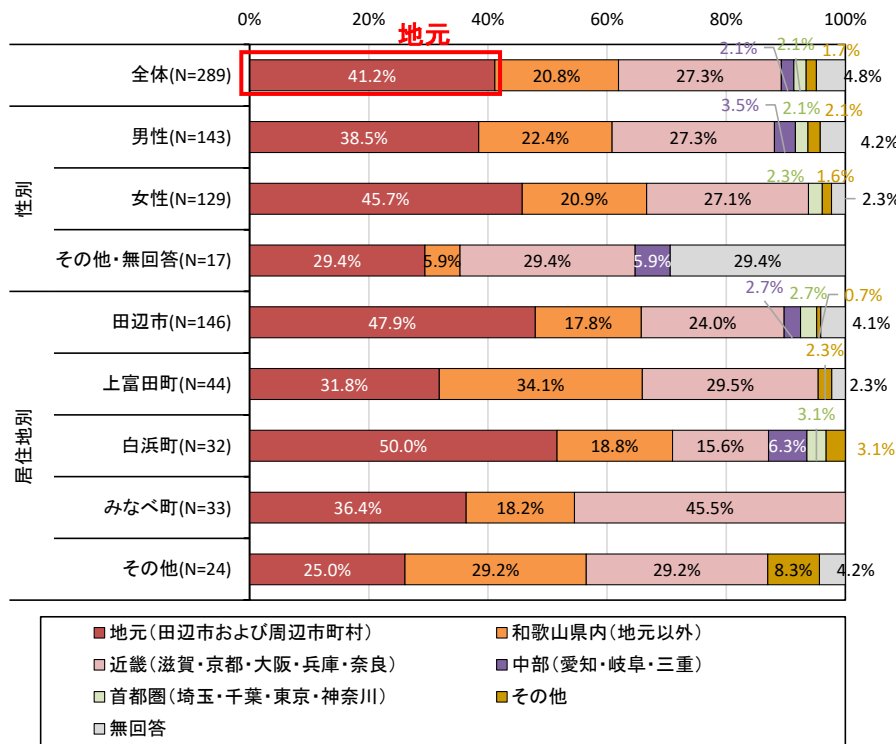
④ 就職に対する考え

(1) 就職先の希望エリア（就職希望者）

- ・「現在の自宅から通えるところで働きたい」および「現在の自宅から通勤するつもりはない」の割合が、それぞれ就職希望者全体の 4 割程度を占めている。
- ・具体的な就職先希望エリアとして、「地元（田辺市および周辺市町村）」が就職希望者の 4 割程度、次いで進学先希望エリアと同様に「近畿（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良）」の割合が 3 割程度を占めている。前回調査から傾向は変わっていない。



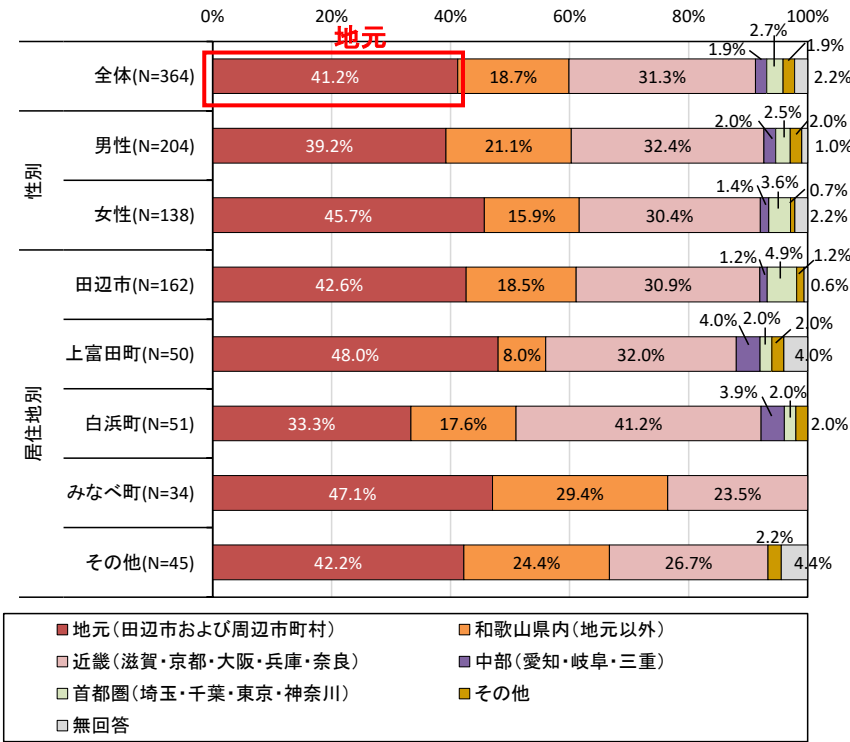
- 現在の自宅から通えるところで働きたい
- 現在の自宅から通えるところで働きたいが、希望の職場がなければ自宅を離れる
- 現在の自宅から通勤するつもりはない
- その他
- 無回答



- 地元(田辺市および周辺市町村)
- 和歌山県内(地元以外)
- 近畿(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良)
- 中部(愛知・岐阜・三重)
- 首都圏(埼玉・千葉・東京・神奈川)
- その他
- 無回答

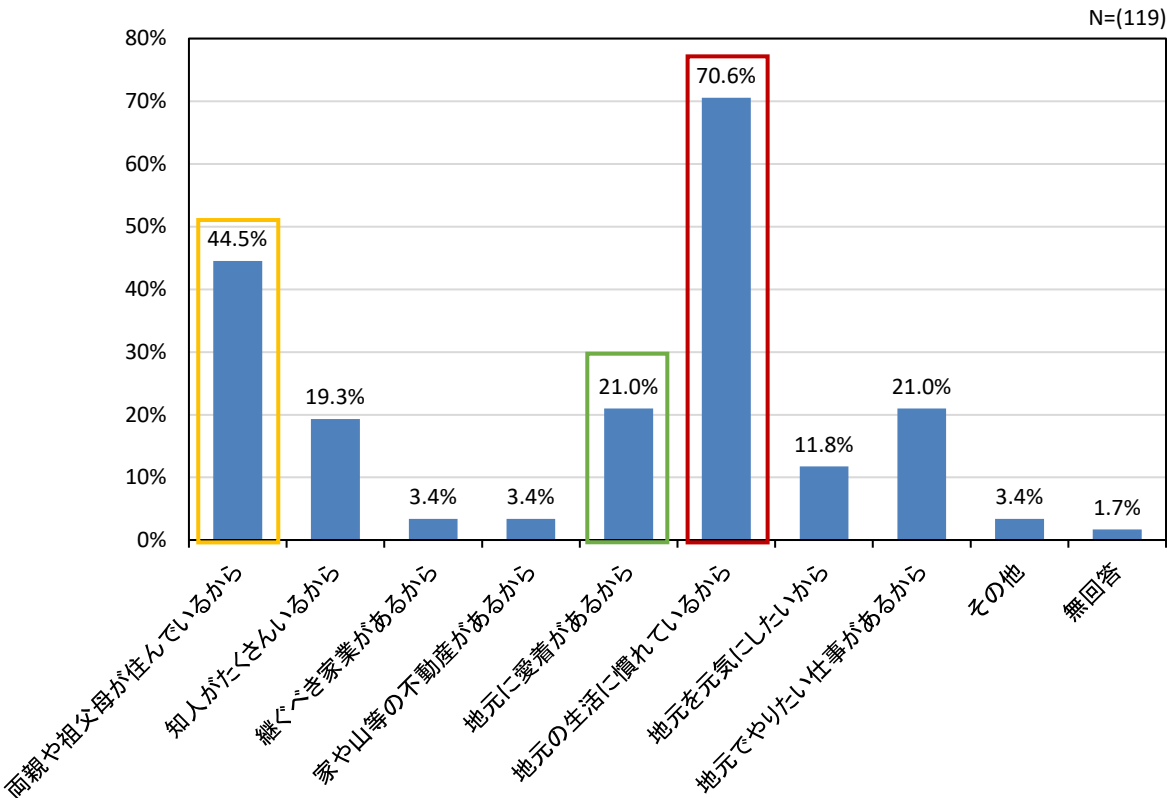
《参考》

■前回調査結果(令和元年)



(2) 地元で働きたい理由(地元で働きたい方)

・「地元の生活に慣れているから」の割合が7割程度を占めており、性別や居住地別でみても傾向は大きく変わらない。

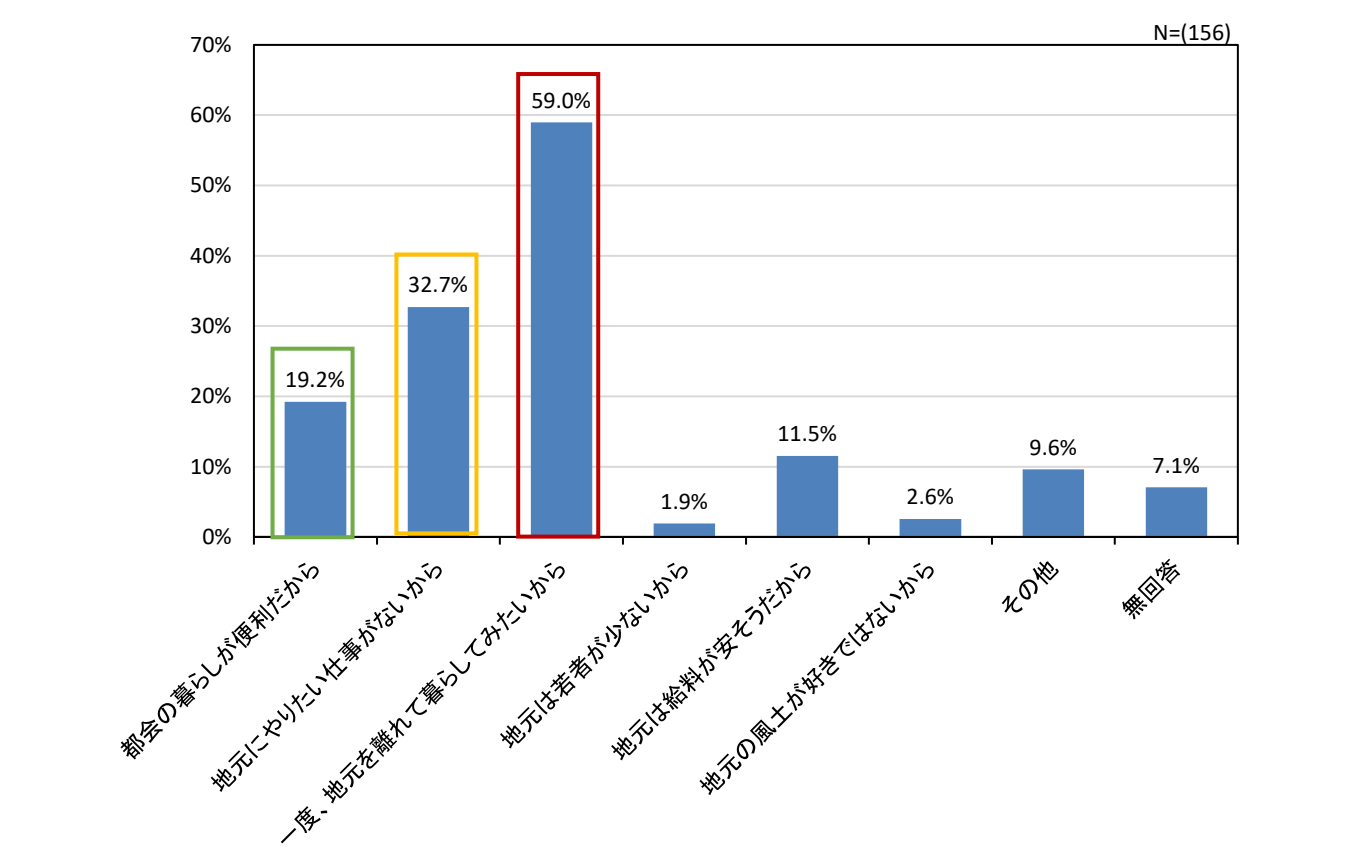


	性別				居住地別				
	全体 (N=119)	男性 (N=108)	女性 (N=123)	その他・ 無回答 (N=7)	田辺市 (N=148)	上富田町 (N=21)	白浜町 (N=29)	みなべ町 (N=23)	その他 (N=16)
両親や祖父母が住んでいるから	44.5%	43.6%	47.5%	20.0%	50.0%	35.7%	31.3%	41.7%	50.0%
知人がたくさんいるから	19.3%	20.0%	18.6%	20.0%	15.7%	7.1%	37.5%	16.7%	33.3%
継ぐべき家業があるから	3.4%	3.6%	3.4%		2.9%	7.1%			16.7%
家や山等の不動産があるから	3.4%	3.6%	3.4%		2.9%				33.3%
地元へ愛着があるから	21.0%	23.6%	18.6%	20.0%	24.3%	14.3%	25.0%	8.3%	16.7%
地元の生活に慣れているから	70.6%	72.7%	71.2%	40.0%	75.7%	50.0%	62.5%	83.3%	66.7%
地元を元気にしたいから	11.8%	10.9%	13.6%		14.3%	7.1%	6.3%	8.3%	16.7%
地元でやりたい仕事があるから	21.0%	16.4%	27.1%		22.9%	14.3%	12.5%	25.0%	33.3%
その他	3.4%	1.8%	3.4%	20.0%	2.9%		6.3%	8.3%	
無回答	1.7%		1.7%	20.0%		14.3%			

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3) 地元以外で働きたい理由（地元以外で働きたい方）

・「一度、地元を離れて暮らしてみたいから」の割合が6割程度を占めており、性別や居住地別でも傾向は大きく変わらない。前回調査からも傾向は変わっていない。



	N=(156)				(複数回答)				
	全体 (N=156)	性別 男性 (N=82)	女性 (N=67)	その他・ 無回答 (N=7)	居住地別 田辺市 (N=70)	上富田町 (N=29)	白浜町 (N=15)	みなべ町 (N=21)	その他 (N=17)
都会の暮らしが便利だから	19.2%	14.6%	25.4%	14.3%	17.1%	24.1%	20.0%	19.0%	17.6%
地元にはやりたくない仕事がないから	32.7%	28.0%	38.8%	28.6%	31.4%	27.6%	40.0%	47.6%	23.5%
一度、地元を離れて暮らしてみたいから	59.0%	57.3%	61.2%	57.1%	51.4%	58.6%	46.7%	85.7%	76.5%
地元は若者が少ないから	1.9%	1.2%	1.5%	14.3%	4.3%				
地元は給料が安そうだから	11.5%	11.0%	11.9%	14.3%	15.7%	6.9%		4.8%	17.6%
地元の風土が好きではないから	2.6%	2.4%	1.5%	14.3%	1.4%		6.7%		5.9%
その他	9.6%	9.8%	9.0%	14.3%	14.3%		26.7%		5.9%
無回答	7.1%	8.5%	4.5%	14.3%	7.1%	13.8%			5.9%

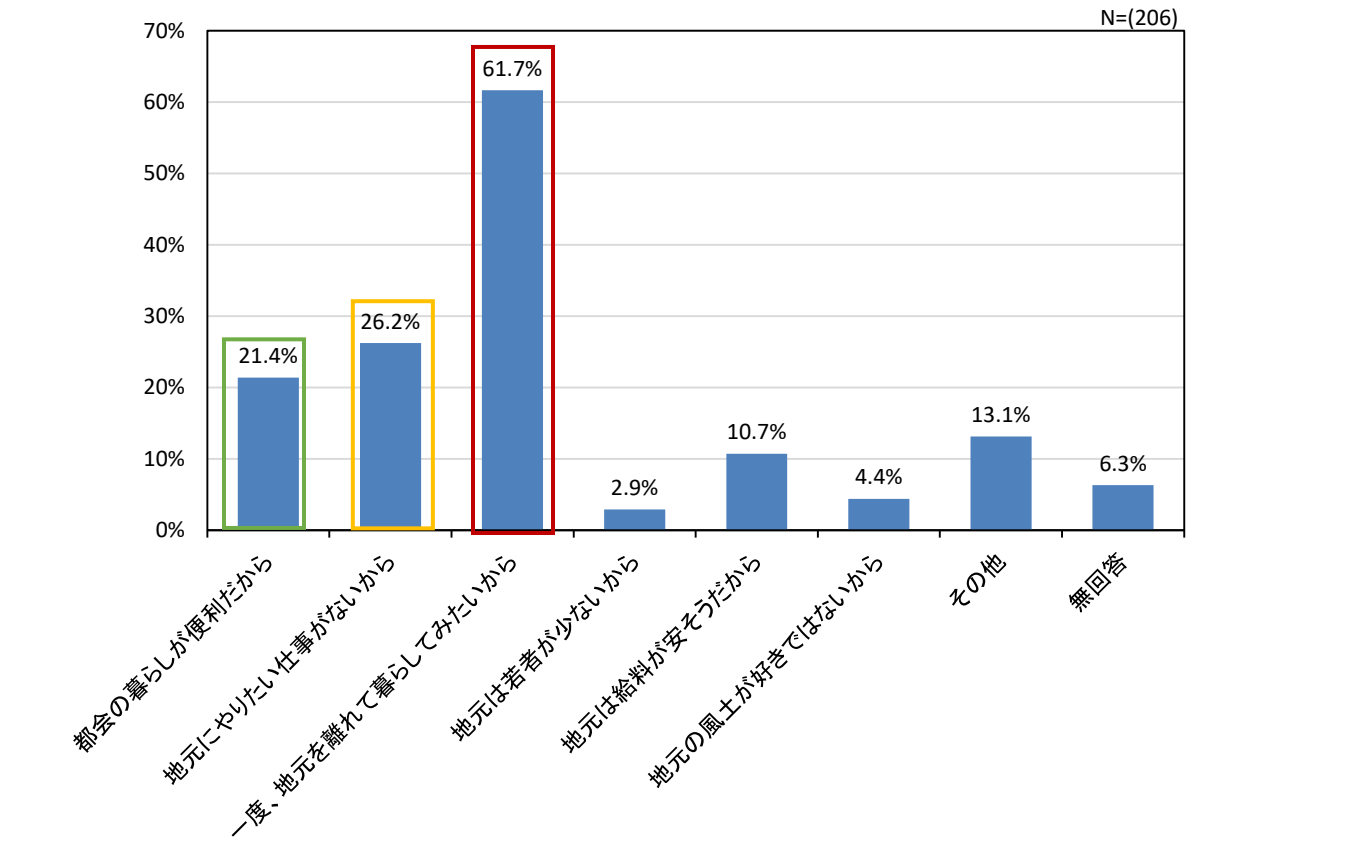
上位1位

上位2位

上位3位

《参考》

■前回調査結果(令和元年)



	全体(N=)	性別		居住地別				
		男性 (N=168)	女性 (N=119)	田辺市 (N=138)	上富田町 (N=35)	白浜町 (N=46)	みなべ町 (N=27)	その他 (N=39)
都会の暮らしが便利だから	21.4%	17.2%	29.2%	21.7%	20.8%	17.6%	27.8%	25.0%
地元にはやりたくない仕事がないから	26.2%	23.0%	29.2%	25.0%	25.0%	26.5%	11.1%	37.5%
一度、地元を離れて暮らしてみたいから	61.7%	61.5%	66.7%	64.1%	70.8%	70.6%	66.7%	37.5%
地元は若者が少ないから	2.9%	4.1%	1.4%	4.3%			5.6%	4.2%
地元は給料が安そうだから	10.7%	10.7%	11.1%	10.9%	20.8%	2.9%	11.1%	12.5%
地元の風土が好きではないから	4.4%	3.3%	6.9%	4.3%	4.2%	5.9%		8.3%
その他	13.1%	9.8%	19.4%	14.1%	4.2%	8.8%	16.7%	25.0%
無回答	6.3%	8.2%	1.4%	5.4%		2.9%	11.1%	12.5%

上位1位

上位2位

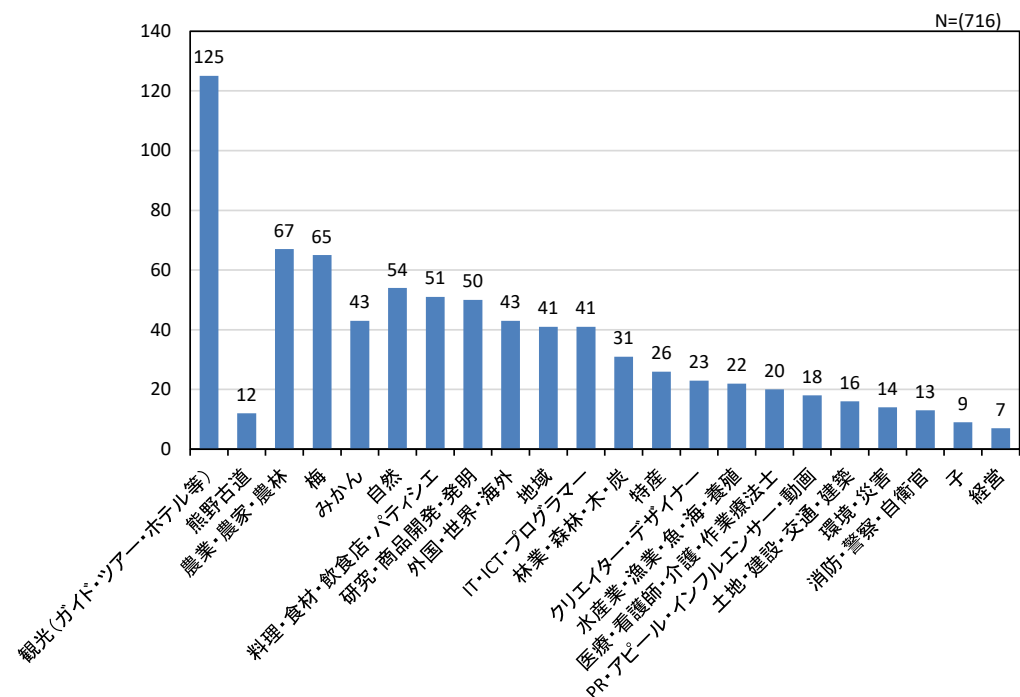
上位3位



## ⑤ その他

### ■地元らしさがあり、あなたが働いてみたいと思える「“格好いい” 未来の地元の仕事」（自由意見）

・有効回収数 858 票のうち 716 の回答があった。意見の一部を以下に示す。



※ 意見内の主なキーワードを抽出。重複カウントあり。

#### ◎観光

- ・梅とみかんと備長炭の良さを伝えるための旅行計画会社
- ・外国人観光客を受け入れるだけでなく、自分からもっと地元の良さを世界に発信していく観光ガイド
- ・熊野古道や白浜を観光するのに訪れる外国人に英語で対応し、エスコートする観光コンシェルジュ
- ・熊野古道を守りながら人々に伝承していく山岳ガイド
- ・和歌山の多くの山を使ってキャンプ場の運営
- ・和歌山の魅力を沢山紹介して伝えるホテルの従業員
- ・和歌山県の広大な自然を生かした AR（拡張現実）によるツアーイベントの作成、実行

#### ◎農業・梅・みかん

- ・放置されている土地を有効活用した農家
- ・新種の農作物を開発する
- ・うめやみかんを全自動で育てるために IT を使う人
- ・農業に役立つ機械の研究開発（自動水やり機など）
- ・梅の種とばし選手
- ・地元の食物をいかした料理を作る飲食店
- ・みかんと梅干しを使ったテーマパークをつくる
- ・梅やみかんの栽培から加工、販売に至るまでを六次産業化した体験型ツアーを提供する（水産業でも）
- ・農業をしたい人、田舎へ住みたい人を地元とマッチングする仕事
- ・リモートで仕事しながら地元の農林水産業を手伝えるワークライフバランスのとれた会社員

#### ◎研究・商品開発・発明

- ・紀州びん長炭の消臭について研究
- ・梅やみかんなどを他に活かす方法を開発する研究者（美容、薬など）
- ・スマート農業の機械開発
- ・イノブタの商品開発を進める研究者
- ・風力などを生かした発明をする技術者

#### ◎IT・プログラマー

- ・広大な自然を生かし、IT×自然の町おこしをする
- ・IT 技術で学校教育をより良いものにするエンジニア
- ・豊富な自然を活かして、山の中で働けるプログラマー

#### ◎林業・森林・木・炭

- ・森林資源を活かしたバイオマス発電事業
- ・森林を守る人
- ・紀州の木材の特長をいかして建物を作る建築家
- ・地元の木をつかって家具をつくる仕事
- ・炭の木琴を奏でるミュージシャン
- ・木や森の匂いを活かして香水を作る調香師
- ・小さい人から大きい人までが楽しめる、和歌山の木を使ってできたテーマパーク
- ・木を活かしたつくりの巨大図書館の司書

#### ◎クリエイター・デザイナー

- ・和歌山の魅力を動画で伝える映像クリエイター
- ・地元の風習や伝統、言い伝えなどを元にゲームアプリを開発するクリエイター
- ・田舎の雰囲気と利便性の両立を目指す空間デザイナー
- ・地元の特産品の魅力を余さず宣伝できるデザイナー

#### ◎水産業・漁業・魚・海

- ・豊かな自然を活かした水産業
- ・漁業を復活させ市場を再開させたい
- ・海産物を加工し国内だけでなく海外へ売り出す生産者
- ・海にあるゴミを再利用に徹するエコグループ
- ・和歌山で釣れる魚を教えたりしてくれる人

#### ◎こども

- ・地域独自でのイベントや行事をこどもたちにつないでもらえるように伝統を伝える保育士
- ・小規模でこどもの良さを最大限に引き出せる教師
- ・地元ならではの人優しさを活かしたボランティア・海を使った人々が楽しめるイベント開催・アドベンチャー動物たちが食べなくなった竹などを活用(SDGS)して遊び道具を作ってこどもたちを楽しませる 等

